

こんにちは。いよいよ新学期が始まりましたね。いままでよみきかせやおはなしをしていた方も、今まではしていなかった方も、今年度は子ども達にたくさん本を読んであげる時間を作ってみてはいかがでしょう？よみきかせやおはなしをしている時間は、しているほうも、聞いているほうも心があたたかくなる時間です。忙しい毎日だからこそ、今年度は本を通して子どもと楽しいひと時をぜひ実感してみてください。今年度の始めにお勧めするのは、学校や家庭で子どもに読んであげるのにお勧めの本です。

『どろんこハリー』

ジーン・ジオン ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム え
わたなべ しげお やく 福音館書店 1155円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園★★★ 小低学年★★☆ 小中学年★☆☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆

<本の紹介>

なんでもだいすきだけれど、おふろにはいることだけがきらいな犬のハリー。ある日、おふろにはいりたくなくて家をにげだします。あそびすぎて、くろいぶちのあるしろい犬が、しろいぶちのあるくろい犬になってしまったハリーは、お家にかえってもだれにもきづいてもらえません。がっかりしたハリーですが、にわをあるいているうちにきづいてもらういいほうほうを思いつきました！

<子どもに手渡すときのポイント>

今からよみきかせを始めてみよう！と思っていらっしゃる方の最初の1冊におすすめです。テクニックなどにも考えずとにかく読んであげてください。可愛い絵とおもしろいお話に子どもたちはついつい夢中になってしまいます。字も少なく、簡潔なお話なので、よみきかせを初めてばかりの方でも安心して挑戦できます。まずは自分が楽しむこと！そこから始めてみてください。



『子どもに聞かせる世界の民話』

矢崎 源九郎 編 実業之日本社 2752円 よみもの

<お勧め年齢>

読んでもらうなら

幼稚園★★★ 小低学年★★★ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆

自分で読むなら

幼稚園☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★★☆ 中学生★★★
高校★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

世界の81の国や民族からそれぞれ1つのお話をえらんで集めた本です。それぞれ「けものや鳥や虫が、でてきて、ちえをはたらかせる話」や「王子や王女が、でてきて、こんなんと戦って、しあわせになる話」など内容によってわけて紹介されています。長い話もあれば、短い話もあります。字が小さくふりがながついていないので、自分で読むのは少し大きくなってからがおすすめですが、誰かに読んでもらっても楽しめます。誰かに読んでもらうなら幼稚園生でも楽しめるおはなしも入っていますよ！ぜひ、近くの大人の人、先生やご両親に毎日ひとつずつ読んでもらってはどうか？

<子どもに手渡すときのポイント>

いろいろな国からいろいろな種類の昔話がなんと81も集められたとても面白い本です。毎日ひとつずつ読んであげても、似た話は入っていないのであきることはありません。ストーリーテリングのテキストとしてもよく使われていますが、ご家庭や教室で本をそのまま読んであげても十分楽しめます。よくストーリーテリングで小さい子にも語られているのは、「ヤギとライオン」「ひなどりとネコ」「アナンシと五」などです。目次についている■は1つだと3分~5分の話、2つだと10分前後、3つだと15分以上のお話だとすぐわかるように目印になっています。その日の時間によって選んでみるのもいいかもしれません。1964年に初版がでていますので、どの国の昔話かは国名が変わっているところもあります。子どもたちに国や部族まで紹介するときには他の本を参照することをお勧めします。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

早良図書館 吉岡 さやか